

卒業式における民族衣装の着用について

本日は卒業式にご出席いただきありがとうございます。

さて、本年度卒業式に、民族衣装で参加する生徒があります。これは、本人に学校や制服への愛着が無いとか、単なる好奇心や安易な気持ちからではありません。

今回民族衣装で卒業式に臨むことを通して「ありのままであること」に不安に覚えている人たちに自信を持って「ありのままの自分を表現しよう」というメッセージを送りたいという本人・保護者の思いを聞き、何度も学年会や関係者会議、職員会議を開き議論してきた結果です。

本校では、生徒とのかかわりを通して、日本という国や学校が、マイノリティ（少数派）である在日韓国朝鮮人の存在を意識してこなかった事実や、そのことで不安にさせている現状があり、それが差別の現実であることに気づかされました。また、ありのままであることを悩む本人に問題があるのではなく、ありのままであることを悩ませている今の社会や、自分たちの意識や行動こそに問題があり、考えなければならぬと気づきました。

そこで、今後全職員・全生徒が自らの課題として、在日韓国朝鮮人問題に取り組み、差別的な社会や自分の意識・行動を考え、自己変革していくことを確認しました。

このことを通して、皆様にも、自分と違うことを興味本位や好奇心な意識で見たり、自分の一方的なイメージで判断することで、マイノリティの方々には不安や恐怖を与えたり、ありのままであることを悩ませている自分自身に問いかけてみていただければと思います。

マイノリティの存在を意識しない（無関心である）自分の意識や行動が、当事者に誰がどう思っているか分からないという不安や恐怖を与え、孤立感・孤独感を感じさせ、人を排除し、つながらない人間関係を作っていることを考えていただければありがたいと思います。

お読みいただきましたありがとうございます。

なお、式は厳粛な中で執り行いたいと存じますので、ご協力よろしくお願いいたします。

第 1 9 回職員会議

平成16年2月25(水) 13時30～、会議室
議長団 3年団

I 校長挨拶

II 協議

3 卒業式等実施(案)について

- (1) 日程・式次第
- (2) 式場準備
- (3) 前日大掃除分担
- (4) 卒業記念品
- (5) その他

(5) その他

■■■：3点お願いがある。

三つ目は、3年2組の■■■がチマチョゴリを着て卒業式に出たいと申し出があったこと。

この3年間、在日韓国籍の生徒に対して失礼な振る舞いをしてきた。本校でこの問題に対して一生懸命取り組んできたわけではない。どちらかといえば外部の方にお世話になって、クラスの中でカミングアウトをしている。また、いろいろな活動を当人がおこなっている。いろんなことと戦ってきたなかで、彼女自身が卒業式でチマチョゴリを着て出たいという気持ちになった。彼女たちのがんばってきた証としてチマチョゴリを着させて卒業式に出てほしいと思う。

■■■：三つ目のチマチョゴリを着て卒業式にでる。という提案について。

■■■：卒業後の準備で、2月に母と本人で韓国^へに行ってきた。友だちに、そのときに■■■がチマチョゴリをつくってもらえるからうれしいと話していた。

卒業証書等のことで、家庭訪問した。そのときに、担任・学年主任からチマチョゴリを着てみないかと問いかけてみた。問いかけた直後は、「はずかしいし季節的に寒いしな」と言っていた。「まあ、じっくり考えなさい」と言ってその日は帰った。数日後、彼女が「考えた結果、着てみたい」と言ってきた。本人は、「自分自身のこれからの将来のために」と言っている。

■：チマチョゴリを着ることに意義について。

■：着ることで、私が韓国人ですと宣言することである。

■：市立尼崎高校では、あたりまえにあることである。

■：当初この話を聞かされたときは、反対であった。卒業式には、制服を着るのが当たり前だと思っている。

生徒の思っていることを尊重するのは大切である。

チマチョゴリを着て卒業式をでるのは、今回だけなのか。もし来年度もとなると、そのように生徒に指導していくのか。

■：一回一回議論していくことが大切。

■：■さんの考えを尊重してあげたい。本人が卒業するにあたって、華々しく卒業して行ってほしい。また、在校生に対してはげましになるのではないか。だから、賛成である。

■：反対である。3年生の方でその話があったときに、いつ2年団で話があるかなあと
思い考えていた。自分の意見を言えるかどうかを思い、勉強してきた。

卒業式とは、鳥商で学んできましたよというものの総決算である。

服装を着るだけ自国を尊重しているということではない、内面が大切ではないか
と
思っている。

■：昨日、学年会でいろいろな意見が出た。反対の方・賛成の方がいました。

個人的には、■や■が一年生のときには授業でかかわってきた。

差別の解消を目指すには、差別から学ばなければならないと思っている。

また、アイデンティティ・民族性を尊重するのは大切である。しかし、それが尊重
されてこなかった。尊重するには、向き合っていかなければならない。

卒業後も民族差別と向き合っていかなければならない、ということもかんがえな
れ
ばならない。

■：現在、北朝鮮バッシングが多いように思うが、そのこも、含めて考えなければなら
ない。

■：そのことについて、■の家族とは話していない。

■：北朝鮮バッシングがあるから、駄目なのか。そうではなくて、卒業式でチマチョ
ゴリを着ることによって、どこに行っても自分自身の本名が名乗れるようにしたい。

反対の意見を出していただきたい。

■：公立教育の場では、民族教育に限界があると思う。民族学校と公立学校との違いは、
民族教育ができるか否かだと考えている。

チマチョゴリを着て卒業式を終えた後、2年生・保護者がどのように思うのか。そ
れを考えると、なかなか説明がしにくいのでは。在校生の状況についても想像ができ
ない。卒業式は生徒にとって最後の学校行事であるが、それをやぶってまでテコ入れ
はするのはおかしいのでは。また、あらたな差別が発生するのでは。

- ：賛成である。在日としてのアイデンティティにかかわることではなかろうか。
今年度限りのことでなんとなく流れていくのであれば、かなりの意気込みで卒業式に臨んだ在日の生徒がしんどいのではないだろうか。反対の意見がもっと出ると思っていたがでないのはなぜだろうか。
- ：なぜ意見が出ないのか。みなさんに良心があるから意見が出にくいのだと思う。
みなさんはいろいろな思いがあるはずである。会議以外ではいろいろな意見を言っている。
- ：発言は出てこないのはなぜか、名指しでいわれれば会議では話せない。
■さんは担任と家族とも話した結果なのだから、彼女の意見を尊重するのがよいのでは。何か事件が起きたらと今から考えなくても、何かが起こればその後に対処すればよいではないのか。
- ：生徒はいろいろな場面や外部で自分の意見を話しているのに、なぜ職員会議で話せないのか不思議である。部外者のいないところで話ができないのはおかしい。
■がチマチョゴリを着て卒業式に出る事については、まげてお願いしたい。
- ：「チマチョゴリを着たい」「卒業式に出ないと言った」ものの一つの意義は、職員会議で在日外国人問題について話をしてもらおうというものも含んでいる。もっと、意見を出してもらえるといいアイデアが出てくるのでは。
先生方に、自分たちの存在を認識してほしいということだと思う。
- ：1年団の先生は、このことについての学年会をしていないので考える時間がほしい。
- ：■さんは、反対されるということが怖いのではなくて、教員が話してくれないから、どう思っているのかが不安である。

休憩10分（～15：45）

- ：賛成とか反対ではなく、■さんこうしたいと言えればそれを許可するのは、無責任になる。考えればプラス面もあるがマイナス面もたくさんある。着ることになったのであれば、それを全職員で支えなくてはならない。着ることは簡単であるが、それを支えるのは大変である、もっとそのことについてもっと話し合わないといけないと思う。また、不本意入学をしてきた生徒が3年間経って鳥商を誇りに思えるようになった生徒もいる。その生徒の気持ちも、■さんのことを考えると結論はでない。
- ：どんな準備をしているのか。
- ：まだ話し合えていないが…。時期については、卒業式の前日に話しては、どうろうという意見はある。話すタイミング・内容については話し合っていない。
- ：■くんの家に家庭訪問をしたときに、チマチョゴリのこと保護者のかたに話した。保護者は、「鳥商は表の部分は進んでいるが内側はどうだろうか。卒業式で本名を呼ばれることで、民族性が全体に対して発信することができるのではないのか」と

おっしゃっていた。また、そうすることによって、民族性は隠すものではないよと在校生にも発信する機会になるのではないだろうかと考えている。式辞については、**■**と**■**と**■**くん**■**さんと話し合いながら作成していく。

■がカミングアウトをしたときは、勢いだけで他の方の意見も聞かれなかった。また、特別なことだけを重要視して、クラスの他の生徒への配慮が担任として欠けた。今できることは、なんだろうかなと考えるときりがないので、いろいろな方の意見を聞くことによって、確認できるのではと考えている。

■: チマチョゴリを着て卒業式にでている**■**さんを見て、どう考えていくのかということが必要なことではないのか。一人一人が在日外国人問題を考えていくことが必要ではないのかなと思う。差別をする人・差別をされる人に焦点をあててしまうと、差別をする人は悪い人・差別をされる人はかわいそうな人になってしまうのではないのか。また、そうなるとしんどいと感じる生徒が出てくる。

■さんは、自分自身の考えほしいのではなくて、在日外国人問題のことをもっと考えてほしいと思っているのだと思う。

■: 賛成の提案にたいして、結論を出しもよろしいか。

■: 在校生が、われわれに対してなぜだと言ってきたときに、在校生に題してお茶を濁すのはしたくない。また、**■**さん**■**くんだけの問題に終わらせたくない、と考えている。

もし、自分がその立場になったときに、そのことを誇りに持つことができるだろうか。わからないが。卒業式を終わったから、終わりということはやめていただきたい。

■: 民族衣装で進めていきたい。

■: **■**先生の意見を聞いてみたい。対外的な面に対してはどう対処するのかなど。

■: 全体が総意でということはできないと思っている。ユダヤの教えの中に「反対のない議会は無効である」という言葉がある。意見を出していただいたなかに、**■**さんにチマチョゴリをきてでることを認める意見が多かった。

■の思いは、在日外国人教育をしつかりしてきたのであれば、制服で卒業式に出たのではないのかなと思っている。しかし、そうではなかった。卒業式にチマチョゴリを着てでることが、全校をあげての最後の同和教育だと思っている。一人一人の生き方あり方を考える場である。鳥商としての在日外国人教育の最後のチャンスではないのかと考えている。決議したのであれば、みんなで支えていかなければならない。**■**くんがカミングアウトをしたときに彼女の表情、韓国に交流でいったとき彼女が本名を言ったときの表情は忘れられない。我々が決定した以上は、温かく送り出したい。**■**としては、式辞で述べたい。2人に話す内容を事前に知らせたい。在校生に対しては、卒業式までに報告する必要があると思っている。保護者に対しては、報告をしなくても彼女がチマチョゴリをきることでわかるのではないのか。また、来賓には式の前にお話しておく。

時間は充分ではないが、先生方に議論していただいたことは伝える。

■■■：■■■先生が代表として、いろいろな問題にたいしてどう取り組んでいくのかということを書いてほしい。

■■■：認めていただくという方向で決定する。

■■■：着るとなったときに、彼女もかなりの勇気が必要なので温かく見守ってほしい。

■■■：学校の中での在日韓国人問題が解消されたわけではない。だから、学校を変えていく必要がある。これが完結ではなく、これからがスタートである。

■■■：難しい問題も含んでいますので、これから学んでいく必要がある。

■■■：立場を明らかにしていくという、■■■先生のお話を承諾することはできない。その生徒の人生をどれくらい背負うことができるのか難しいものがある…。しかし、そういうのが当たり前になるとありがたい。

生徒自治会規律要項

我々は光輝ある鳥取商高の生徒として、常に自覚と誇りをもって日々の学校生活を明るく、また、意義あるものにするよう心掛けなければならない。

(一) 服装

登校、下校の際には男女とも制服を着用すること。

- ① 冬期服装は下記のとおりであるが左襟に鳥商記章をつけること。
- ② 夏期服装は Torisyo のネーム入り白の半袖シャツおよび、長袖カッターシャツ (男子のみ) とする。
1. 男子の制服は指定の黒色学生標準服とする。ボタンは指定のものをつけること。上衣の下に着るシャツは華美でないものを着用すること。
2. 女子の制服は本校制服図に示したものとし、スカート丈は膝皿下から上下5cmの範囲とする。(本校指定の制服) 上衣着用時にベスト、セーター等を着る場合は、華美でないVネックのものとする。
3. 夏期帽子を用いる場合は高校生としてふさわしいものを使用すること。
4. 冬期には、防寒コートを着用してもよい。ただし黒・紺・グレー・ベージュ・茶・白の単色のものとし、丈は膝までとする。(本校制服図

-48-

(ロ) 前髪は眉にかからないこと。

(ハ) パーマ、加工等をしたり、化粧をしてはいけない。

(ニ) リボン、黒色、紺色、コゲ茶色とし巾は2cmまでとする。

11. 制服 (合服、夏服、冬服) の着用は原則として下記の期間による。

(男子)

冬服 → 白半袖シャツ → 冬服

10/1 ~ 6/1 ~ 10/1 ~

(女子)

冬服 → 合服 → 夏服 → 合服

10/10 ~ 6/1 ~ 6/25 ~ 9/21 ~

12. 特別の事情により異装を希望する者は、所定の (異装願) により学校の許可を得ること。

(二) 挨拶

1. 常に端正な言語態度をもち、礼儀を失わないように注意すること。

2. 常に先生及び来校者に対し挨拶を怠らぬこと。
3. 生徒同士間の挨拶も進んで実行すること。

(三) 正規の在校時間内に校地外に出る場合は必ず外出許可簿に記入の上、担任の承認を得て所定の外出許可証を受けること。

(四) 昼食

に標準型を示す)

5. 登校、下校の際の履物は、男女とも短靴、運動靴とする。

(冬期、雨天時には標準型の長靴、レインシューズ、ブーツの使用も認める。)

6. 靴下の色は男女ともに白・黒・紺色 (単色) とする。女子は同色のタイツを使用してもよい。なお、ハイソックスは可、ルーズソックスは不可とする。

7. 次のものは、高校生らしい華美でないものを使用する。

雨傘、靴、マフラー、手袋、ベルト等

8. 校舎内では上履としてツッカケを使用し、体育館では指定の専用靴を使用する。

9. 男子の頭髪は、高校生らしい清潔な髪型とし、次の事項を厳守すること。

(イ) 後髪は正しい姿勢をした時、詰襟にかからないこと。

(ロ) 横髪は耳にかからないこと。

(ハ) 前髪は眉にかからないこと。

(ニ) おいさがりは耳穴までを限度とする。

(ホ) パーマ、加工等をしてはいけない。

10. 女子の頭髪は、高校生らしい清潔な髪型とする。次の事項を厳守すること。

(イ) 頭髪の長さは正しい姿勢の時、襟の下の線までを限度とし長いものは束ねること。

-49-

昼食は指定された時間にH・R洗心館及び本校売店とること。

(五) 校内ポスター類の掲示

1. 校地内にポスター類を掲示する場合には指示された場所に全校五枚以内とし、学校の許可を得ること。但し、新聞部の速報、生徒自治会選挙の場合はこの規定外とする。

2. 使用後のポスター類は掲示責任者において撤去すること。

(六) 校舎、校具の保全に留意し、愛用すること。

(七) 清掃

1. 我々の学園を住みよいものにするため、我々の手で美化に努めること。

2. 清掃当番は責任をもって分担区域を清掃し、清掃用具は所定の場所に保管すること。

(八) 役員、委員、番番、当番等に服する者は、任務に対する自覚をもって積極的にその責任を全うすること。

(九) その他

1. 外出の際には必ず証明書を携帯すること。
2. 放課後または休日に校舎、校具を使用する場合には、学校の許可を得ること。

3. 飲酒・喫煙など高校生としてふさわしくない行為はしないこと。

4. 夜間外出 (夏期午後10時、冬期午後9時以後)

-51-

-50-

- 及び外泊はしないこと。
- 男女間の交際は常に公明正大であること。
 - 入場禁止場所（喫茶店、パチンコ店、カラオケハウス、ビリヤード等、その他好ましくない場所）に出入りしないこと。
 - 交通道德ならびに交通法規をよく守り、自転車の2人乗り、自動車、自動二輪車等の無免許運転、スピード違反等しないこと。自動車、自動二輪車の免許取得はあらかじめ学校の許可を得ること。これらによる通学は原則として認めない。
 - 下宿、アルバイトを希望する者は予め願書を提出して許可を得ること。
 - 部活動（休暇中）及び諸行事（旅行、キャンプ、集会参加、スキー登山、海水浴等）は予め願書を提出して許可を得ること。

平成9年2月1日一部改正
平成14年6月1日一部改正

1. 女子制服



(白のカッターシャツ)
襟台つき



3
冬
服



注意
○ カッターの上に赤色以外で華美でないVネックのベストセーターを着用してもよい。但し常にカッターの襟並びにネクタイが見えなくてはならない。

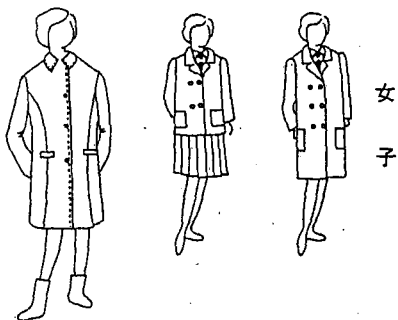
TORISYO
のマーク

2
夏
服



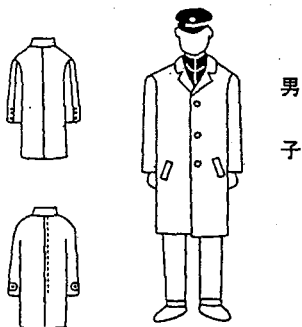
1
合
服
注意
1. カフスボタンはしてはいけない。
2. 襟の凹形のものはいけない。
3. 襟等に飾りのあるものはいけない。
4. ネクタイは本校販売部で販売するものに履る。

2. 防寒コート（標準型）



女
子

シングル型でもよい。
ボタンは同色とする。



男
子